

5万人が結集

5月3日、東京臨海広域防災公園において「5, 3憲法集会」(協賛: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合)が開催され市民、各団体、学生、労働組合などが参加し、昨年の参加者3万7千人を大きく上回る5万人が結集し、あらためて憲法を守り、原発廃止、辺野古基地を断念する事をアピールしました。

集会では多くのゲストが挨拶され「政府は事実を隠し真実を隠蔽している」「個々の多様性と自由を束縛している」「学問に対する抑圧がある」と戦争のできる国として着々と外堀が埋められている。このような状況を私たちの闘いで打破していかなければならない。その最初の闘いが来たる参議院選挙での勝利であること。そして野党結集へと進ませたのは昨年からの安全保障関連法案反対の国会前総行動に結集した私たちの闘いの成果である事を集会参加者全体で確認しました。

また、集会には民進党、日本共産党、社民党、生活の党の各政党の代表から挨拶があり「安全保障関連法の廃止」「立憲主義を取り戻す」「自民党の憲法改正案を阻止する」この3点で結集して来る参議院選挙を全力で闘うとの決意がのべられました。

私たちは子供、孫の世代まで絶対に戦争をしない、させないために平和憲法を守らなければなりません。

そのために、平和憲法を守り、平和な日本を創るために参議院選挙の勝利に向けて全力で闘いましょう!